

各位

2022年3月1日
弥生株式会社

当社の株主変更に関するお知らせ

-オリックスから KKR への株式譲渡が完了-

弥生株式会社(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:岡本 浩一郎)は、オリックス株式会社(本社:東京都港区、社長:井上 亮、以下「オリックス」)から、コールバーグ・クラビス・ロバーツ・アンド・カンパニー・エルピー(本社:米国ニューヨーク州、関係会社及びその他の関連事業体を含め、以下、総称して「KKR」)の関連会社に株式譲渡が本日完了したことを受け、正式に当社の株主が KKR になりましたことをお知らせします。

それに伴い、KKR から取締役 2 名、監査役 1 名が新たに当社役員に就任します^{※1}。

弥生は、お客さまの事業の立ち上げと発展の過程で生まれるあらゆるニーズにお応えする「事業コンサルティング」でありたいと考え、ビジョンとして掲げています。このたび、KKR を新たな株主として迎えることで、そのビジョンを実現するための強力なパートナーを得ることができました。今後も当社の事業内容ならびに目指す姿に変更はなく、提供するサービスの進化を加速させることで、これまで以上にスモールビジネス事業者の発展を支え、日本経済の活性化に貢献していきたいと考えています。

※1 新役員 3 名は、弥生のグループ会社であるアルトア株式会社の役員も兼務します

以上

■役員の新任と退任

氏名	新役職名	現役職名
谷田川 英治	社外取締役	株式会社 KKR ジャパン パートナー
原田 秀一	社外取締役	株式会社 KKR ジャパン マネージング・ディレクター
何 思寧	社外監査役	株式会社 KKR ジャパン アソシエイト
松崎 悟	退任	取締役(オリックス株式会社 取締役兼専務執行役)
渡辺 展希	退任	取締役(オリックス株式会社 執行役)
横井 慎也	退任	取締役(オリックス株式会社)
高山 匠	退任	監査役(オリックス株式会社)

■更新後の役員構成

取締役

氏名	役職名
岡本 浩一郎	代表取締役 社長執行役員
飯野 弘也	取締役 執行役員
前山 貴弘	取締役 執行役員
谷田川 英治(新任)	社外取締役(株式会社 KKR ジャパン)
原田 秀一(新任)	社外取締役(株式会社 KKR ジャパン)
太田 直樹	社外取締役(株式会社 New Stories 代表取締役)
林 千晶	社外取締役(株式会社ロフトワーク 取締役会長)

監査役

氏名	役職名
八木 健次	監査役
何 思寧(新任)	社外監査役(株式会社 KKR ジャパン)
鈴木 由里	社外監査役(渥美坂井法律事務所・外国法共同事業 弁護士)
塚田 英樹	社外監査役(塚田英樹公認会計士・税理士事務所 所長)

■新役員のご紹介

社外取締役 谷田川 英治

2006年にKKR入社。テクノロジー業界チームのメンバー。KKR入社後はUnisteel、インテリジェンス、パナソニックヘルスケア、Pioneer DJ、Transphorm、カルソニックカンセイ、日立工機、日立国際電気、フロムスクラッチ、西友、ネットスターズの投資に関与。現在工機ホールディングス(旧日立工機)、SYホールディングス(西友)、Transphorm(米国企業)、データX(旧フロムスクラッチ)、ネットスターズにおいて社外取締役を務める。2010年から2012年まで香港オフィス勤務。KKR入社以前はゴールドマン・サックス投資銀行部門にてニューヨーク及び東京で勤務し、テクノロジー、メディア、テレコム業界担当、M&Aや資金調達などの案件に関与した。東京大学工学部にて学士号、東京大学工学系研究科にて修士号取得。

社外取締役 原田 秀一

2020年にKKR入社。投資銀行およびM&Aアドバイザー業務で20年を超える経験と実績を有す。KKR入社以前はメリルリンチ日本証券に16年間勤務、直近まで取締役兼投資銀行部門長の職にあった。それ以前は、大和証券SMBC東京及びロンドンオフィスにてM&Aアドバイザー業務、中央青山監査法人(現PwC Japanグループ)にてトランザクションサービス業務に従事。岡山大学法学部にて学士号を取得。

社外監査役 何 思寧

2018年にKKR入社。KKR入社以前は、JPモルガン証券投資銀行部門にて、金融法人グループにおけるクロスボーダーM&A案件や資金調達案件に関与。東京大学経済学部にて学士号取得。

■KKRについて

KKRは1976年に設立された世界有数の総合資産運用会社で、ニューヨーク証券取引所に上場しています。運用資産残高は2021年12月末時点で4,710億ドル(約54兆円)であり、これまで世界で約330件のプライベートエクイティ投資を手掛けており、ソフトウェア分野でも世界で数多くの投資を行っています。中小事業者向け会計及び業務ソフトウェア領域においては、豪州のMYOB、オランダのExact、ノルウェー・スカンジナビアのVisma、ベトナムのKiotVietへの投資を行っています。また、企業向けソフトウェア及びクラウド・SaaSソリューションにおいても米国のERPベンダーであるEpicor、米国のクラウド財務会計プラットフォームであるOneStream、スイスの統合型業務ソフト・クラウドソリューションであるSoftwareOne、日本でデータマーケティングプラットフォームb-dashを提供するデータXなど幅広い分野においてグローバルに豊富な投資実績を積み重ねています。

【弥生株式会社について】

弥生は、中小企業、個人事業主、起業家の事業を支える社会的基盤(インフラ)として日本の発展に能動的に貢献することを使命としています。そのために、事業者の皆さまが事業を立ち上げ、進め、発展する過程で直面するさまざまな課題にお応えできる「事業コンシェルジュ」を目指して、「弥生シリーズ」や「事業・業務支援サービス」を開発・提供・サポートしています。

代表的なサービスである「弥生シリーズ」は、クラウド会計ソフト 6 年連続利用シェア No.1^{※2} デスクトップアプリで 23 年連続売上実績 No.1^{※3} を獲得しており、登録ユーザー数は 250 万を超えました。「事業・業務支援サービス」は、起業・開業ナビ^{※4}、資金調達ナビ^{※5}、税理士紹介ナビ^{※6} など、業務ソフトウェアの枠を超えたサービスを提供しています。2020 年より社外活動として、社会全体の DX 推進に取り組む団体^{※7} の立ち上げを主導するなど、事業者の圧倒的な業務効率化の実現に向け活動しています。

弥生の詳細については <https://www.yayoi-kk.co.jp> をご覧ください。

※2 2021 年 5 月 27 日付プレスリリース: [弥生、6 年連続で個人事業主向けクラウド会計ソフトシェア No.1 を獲得](#)

※3 2022 年 1 月 17 日付プレスリリース: [弥生のデスクトップアプリ、23 年連続で日本国内販売シェア No.1 を達成](#)

※4 2021 年 3 月 31 日付プレスリリース: [「起業・開業ナビ」サービス開始](#)

※5 2021 年 10 月 29 日付プレスリリース: [「資金調達ナビ」サービス開始](#)

※6 2021 年 12 月 13 日付プレスリリース: [「税理士紹介ナビ」サービス開始](#)

※7 立ち上げた 2 団体。2020 年 6 月「[社会的システム・デジタル化研究会](#)」、2020 年 7 月「[電子インボイス推進協議会](#)」